
嘘つきの赤

たぬぼん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嘘つきの赤

【Nコード】

N2066S

【作者名】

たぬぼん

【あらすじ】

色を題材にした短編シリーズの1つ

(前書き)

情熱的で妖艶な赤

赤ー。

鮮やかな赤、明るい赤、暗い赤、
様々な赤があつてそれぞれ意味がある。
だけど私が共にあるのはー

>嘘つきの赤<

真っ赤なネイルに、ワインレッドのドレス
自慢の黒く長い髪を整えて、
一番最後に自分を見つめながら、
少し大人しい赤いルージュをひく。

ねえ、これが私、今日もキレイね。

鏡の私に語りかけて外へでる。
真っ暗な街の中、私のそれに群がる人々に
私はその度嘘をつく。

好きよ、愛してるわ、ずっとそばにいるわー

この身が満たされることはないけれど
それは私を嘘つきにしていくな。

それでも辞めるわけでもなく今日も身に纏い眩くのは嘘。
最高に妖艶に、艶かしく口からでていく。

ねえ、愛しているわー

みたされることもない嘘を
同じそれを纏う満月が嘲笑う。

ああ、お前はいつでも欠けている
私のように満ちることは永遠にないのだと、、、、

(後書き)

赤は良く情熱的で明るいイメージだと思うけど、
黒のなかにある赤は妖艶なイメージがあるんです。
私の中の話しなんですけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2066s/>

嘘つきの赤

2011年10月8日22時16分発行